

芸能の構成と内容……宿から神社までの道中は「道笛」という道中囃子を奏する。境内に入ると、「宮参り」で社殿に向かって左から三回まわる。この後本舞となり、①舞出し、②草食い、③けんか獅子の三種からなる。

① 舞出し……社殿に向かって一列に並び、両手を広げて上体を前に倒し左右を見上げる。太郎を先頭に縦一列に並び、舞庭を四角にまわりながら、社前でも同じく両手を広げて上体を倒し左右を見上げる（二周する）。

もどると横に並んだままで一緒に進み出て、跳び上がったは太鼓を打ち、両手を頭にあててさがる。続いて、三匹は中央に寄って向きあい、足を交互に摺るように後に蹴り、さらに寄って跳び上がった太鼓を打つ。元の位置にもどって向きをかえ、やはり足を後に蹴る。（これより雌獅子が中心になる）。雌獅子は右膝を着いて上体を前に倒し両手を広げて頭を左右に向ける。立って右手を横に伸ばし、左手を頭にあてて太郎に近づき、太郎も一緒に両膝を少し曲げる。手をかえて次郎に近づき、次郎も一緒に両膝を曲げる。次に、三匹一緒に両手を広げ、雌獅子は特に大股で左前、右前、左前、右前と向きをかえながら進み出てはもどる。さらに先と同じく、中央で向きあって足を交互に後を蹴り、さらに寄って跳び上がったは太鼓を打つてもどる。

雌獅子の舞が終わると次郎獅子の舞になり、終わって太郎獅子が舞う。

太郎が舞い終わると、三匹が寄って向きあい、足を交互に後に蹴りさらに寄って跳び上がったはもどる。一列になって両手を広げ、舞庭を四角に二回まわりながら各四方で跳び上がった太鼓を打つ。